

宮崎県内における職場での熱中症による死傷災害事案の概要
(平成 21 年～平成 30 年、休業 4 日以上 of 労働災害)

番号	年	月	業種	年代	事案の概要
1	21	5	その他の事業(プロイラー捕鳥)	60 歳代	同僚と鶏舎清掃作業中、15 時から 30 分間休憩し、作業再開後(約 10 分後)、被災者が痙攣を起こし意識を失って倒れた。救急車で搬送された。(休業 10 日)
2	21	7	製造業(パルプ・紙製造業)	50 歳代	密閉された部屋において、紙の表面の光沢度を上げる機械の運転管理及び監視の業務に従事していた被災者が、大量の発汗のため脱水症状になった。被災者は、前日から食欲不振で体調を崩していた。
3	22	7	接客娯楽業(ゴルフ場)	40 歳代	ゴルフ場のグリーンを刈り込み作業中、立ちくらみを感じたため、水分を補給した。その後、管理棟で作業用機械等の洗浄作業に従事していたところ、身体が動かなくなった。病院にて受診したところ、熱中症で休業約 3 週間と診断された。 当日は快晴で湿度が高く、無風状態であった。(休業 3 週間)
4	22	8	製造業(食料品製造)	20 歳代	室内で包装作業中、急に息苦しくなり、全身がしびれ、手がつり、過呼吸などの症状が出てきたため、病院にて受診したところ、熱中症で休業約 5 日と診断された。室内はエアコンが故障していたため、非常に暑い状況であった。(休業 5 日)
5	22	8	建設業(防水・塗装工事)	20 歳代	朝から事業所の倉庫の片付作業を行っていたところ、午後 3 時 30 分頃、気分が悪くなり、早退した。帰宅後、嘔吐し、次第に手足がつりはじめたため、病院にて受診したところ、熱中症と診断され、そのまま入院となった。
6	22	9	製造業(看板製造業)	30 歳代	塔屋看板の現場(建物屋上)貼替工事に従事していた。足場上で防護ネットが張られていたため熱が籠っていた。作業中気分が悪くなり、頭痛がし吐き気がしたため、早退した。

7	23	6	農林業 (林業)	50歳代	山林の下刈りを行っていたところ、午後2時過ぎに作業が完了したため、帰ろうとしたところ、被災者は座り込んだまま動かなくなったため、救急車を呼び、病院へ搬送した。搬送後、治療を行っていたが、熱中症で3日後に死亡した。
8	23	7	畜産・水産業 (畜産業)	50歳代	午前中、牛を洗ったり、牛の爪切り作業に従事した。13時頃から田んぼで草刈りを始め、30分後に、痺れ、痙攣を起こし救急車で搬送された。
9	23	7	製造業 (製材業)	50歳代	パレット部材の板乾燥場にて、板を乾燥台に干す作業を行っていた。作業開始から2時間程して気分が悪くなり、めまい、頭痛、足のけいれんの症状が出たため、病院にて受診し、熱中症と診断され、点滴治療を受けた。10日間の休業が必要と診断された。(休業10日)
10	23	8	畜産・水産業 (畜産業)	50歳代	室内作業中に気分が悪くなり、救急車にて病院へ搬送され、熱中症で休業約1週間と診断された。室内はエアコンと扇風機をかけていたが、気温が高く室内温度は高温となっていた。(休業1週間)
11	23	8	建設業 (建築工事業)	20歳代	型枠解体作業終了後、休憩所にて帰宅準備中に手のしびれが発生した。次第に足もしびれ始めたため、車に乗せ病院へ搬送した。熱中症で休業約1週間と診断された。(休業1週間)
12	24	5	農林業 (林業)	50歳代	被災者は重機(グラブ)を操作し地拵え作業に従事していた。 現場巡視中の責任者が被災者の異変に気付き、病院に搬送したところ発熱と極度の脱水症状があり、休業約2週間と診断された。 現場は、平坦な地形で当日は風も無かった。(休業2週間)
13	24	7	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	30歳代	荷卸作業中、身体がつり始め、多量の発汗と吐き気があったため、救急車にて病院へ搬送され、熱中症で休業1週間と診断された。(休業1週間)
14	24	7	建設業 (木造家屋建築工事業)	50歳代	屋根瓦取替工事現場において、水分補給をしながら作業を行っていたが、湿度も気温も高い日であったことから熱中症を発症した。帰宅する際、吐き気などがあったため、翌日病院に行ったところ、入院となった。

15	24	8	金融・広告業 (その他の 金融業)	50歳代	他店舗の清掃作業を行った後、帰社し、道具類の後片付けを終えたところ、ロッカー室にてめまいを起こし失神した。 救急車にて病院へ緊急搬送したところ、熱中症で休業5日と診断された。(休業5日)
16	25	6	製造業 (製材業)	20歳代	製材作業中に首筋に痛みを感じた。その後、肩から腕にかけて痛みが増し、力が入らない状態になりめまいを起こした。
17	25	7	製造業 (自動車・同 付属品製造 業)	30歳代	工場内で意識を失い、倒れ、救急搬送された。意識を失う前に意識障害による異常行動が認められた。災害発生前に、睡眠不足及び食欲不振の症状があった模様。
18	25	7	商業 (その他の 小売業)	10歳代	炎天下で片付け作業中、頭痛がして退社したが、症状が悪くなり、翌日病院で診察を受けたところ、熱中症と診断された。
19	25	7	建設業 (その他の 建設業)	60歳代	客先の店舗内で冷風送風機の排気漏れを防ぐため、天井にカバーを取付ける作業に従事した。熱気が溜まった場所での作業であったため、熱中症になった。
20	25	8	製造業 (木材・木製 品製造業)	30歳代	工場内でパレットを制作する作業を行っていた。出勤直後から頭痛があり、そのまま業務を続けていたが、頭痛がひどくなり退社した。病院で診察を受けたところ、熱中症と診断された。
21	26	6	その他の事 業(その他)	60歳代	市の委託事業で、児童公園等の樹木選定作業を終了し、軽トラックを運転して事務所に到着後、車から降りた際に手足が攣って動けなくなりそのまま地面に横になった。その後、救急車で病院へ搬送され、脱水、血流不良による急性腎不全と診断された。
22	26	7	建設業 (建築工事 業)	30歳代	新築工事の土間埋め戻し作業において、ランマーによる転圧作業に従事していた。炭酸飲料と冷水機の水は補給していたが、昼前に腹痛を訴え、気分が悪くなり休憩所の椅子に座っていたところ、痙攣・痺れが起きた。
23	26	7	建設業 (木造家屋 建築工事業)	70歳代	大工の仕事をして帰宅した。夕方から気分が悪くなり、病院へ行ったら熱中症と診断された。

24	26	7	建設業 (電気通信 工事業)	50歳代	電気供給工事において、壁にメーター器を取り付けていたとき、激しい発汗と体のだるさを感じて帰社した。病院診察を受けたところ、熱中症(脱水による急性腎不全)と診断された。
25	26	7	建設業 (電気通信 工事業)	50歳代	外線工事に従事した。帰社後、倦怠感があり、汗・尿が出ず、食事も取れなくなり、翌日病院へ行ったところ、熱中症と診断された。
26	27	6	その他の事業 (その他)	50歳代	馬の寝床の藁の入れ替え作業中、途中で目の前が暗くなり立っていられなくなり、介助を受けながら休憩室に運ばれた。当日は朝から蒸し暑く、作業前に水分補給をしていなかった。(休業1週間)
27	27	7	農林業 (林業)	50歳代	気温が高く、風通しも悪い杉の山林において、下刈り作業を行っていたところ、熱中症になった。(休業9日)
28	27	7	接客娯楽業 (ゴルフ場)	20歳代	キャディー業務中、頭痛・吐き気・足の攀りの症状が認められ、体調が悪くなった。(休業1週間)
29	27	8	農林業 (林業)	50歳代	造林現場で下刈り作業中、気分が悪くなり、水分補給をしながら木陰で休んでいたが、めまいや手足のしびれ、こむら返りの症状が出た。(休業11日)
30	27	8	商業 (その他の 卸売業)	50歳代	前日現場でガス切断作業に従事し、体調不良を感じていた。当日自社場内で作業に従事し帰宅したが、その後体調が悪化し、救急車で病院へ運ばれた。水分、塩分補給はこまめに行っていた。(休業1週間)
31	27	8	農林業 (林業)	50歳代	支障木の伐採現場で木材の搬出作業中、気分が悪くなり、病院に行き熱中症と診断された。(休業1週間)
32	27	8	商業 (その他の 小売業)	50歳代	建屋の修繕のため、材木をカットする作業中、気分が悪くなり木陰で休憩した。涼しい部屋へ移動しようとしたところ、ふらついて転倒した。(休業1週間)
33	28	5	農林業 (農業)	40歳代	ビニールハウス内で野菜の収穫等の作業を行っていたところ、体のだるさと疲れを感じたため、作業を中断し、病院で診察を受けた。(休業1週間)

34	28	6	その他の業種（クリーニング業）	40歳代	工場内でアイロン仕上げを行っていたところ、当日はスポットクーラーが不調の送風のみとなっており、さらにブレイカーも故障し送風も停止した。その後しばらくして午後2時30分ごろ熱中症により倒れた。（休業4日）
35	28	6	農林業（林業）	60歳代	- 被災者は、広葉樹の伐採現場において、他の労働者ととも午前10時から立木の伐倒及び造材作業を行っていた。午後3時頃、同僚が伐倒作業を行っていた被災者に作業終了を告げ、先に集合場所へ戻ったが、なかなか被災者が集合場所に戻らないため、再度、呼びに行ったところ、斜面に倒れている被災者を発見した。医療機関に救急搬送したが、4日後に死亡した。被災者は当該事業場の労働者として作業に従事した初日であった。 - 環境省熱中症予防情報サイトによるWBGT値は、30.3℃ - 被災者に対する健康診断は実施されていなかった。
36	28	7	その他の事業（警備業）	60歳代	土木工事現場において、通行車両の車線変更誘導を行っていたところ、気温が高く風も少なく体調を崩し、その場で倒れた。（休業1週間）
37	28	7	清掃・と畜業（廃棄物処理業）	50歳代	炎天下の屋外で、鉄屑類を手作業でトラックに積み込み、その後、建物内に移動し同様の作業を行っていたところ、意識を失い倒れ頭部を強打した。（休業2週間）
38	28	8	農林業（農業）	50歳代	作業場でフォークリフトから里芋を台の上に降ろす作業に従事した。台の上から降りようとしたところ、右足ふくらはぎに激痛が走り作業が困難になった。（休業2週間）
39	28	8	接客娯楽業（飲食店）	20歳代	エアコンが壊れ室温が40度近くある厨房でスープ仕込み作業を行っていたところ、次第に息苦しくなり、体に力が入らなくなった。（休業10日）
40	28	8	その他の事業（警備業）	40歳代	工事現場で交通誘導作業を行っていた。午後3時前に水飲みに行ったところ、気分が悪くなり、近くの木陰で休もうと座ったが、意識がなくなった。（休業5週間）

41	28	8	その他の事業（警備業）	40歳代	工事現場で交通誘導をしていたところ、3リットル以上水分を摂り、塩飴も10個程度摂取したにもかかわらず、足が痙攣し、嘔吐し、救急車で病院へ搬送された。（休業10日）
42	28	8	建設業（木造家屋建築工事業）	20歳代	新築工事現場で、上棟前日の作業を終え、夕方会社へ戻りトラックから降りたところ、両足が硬直し座り込んで倒れた。病院に救急車で搬送され入院となった。（休業1週間）
43	28	9	商業（その他の小売業）	50歳代	店舗の屋外売場の商品棚に囲まれた、風通しがなく冷房もない非常に暑い場所で、商品の発注台帳記入作業を1時間程していたら、めまいと激しい嘔吐の症状になり、救急搬送された。（休業1週間）
44	29	7	その他の事業（ビルメンテナンス業）	60歳代	勤務先で清掃作業を行っていたところ、体調不良（体が熱く、動くのもきつい、食欲もない）となり、業務終了後に自宅にて安静に過ごした。翌日も体調が戻らなかったため、その翌日に受診したところ入院となった。（休業1月）
45	29	7	保健衛生業（介護事業・社会福祉施設）	30歳代	午後2時35分、施設内の浴場にて入所者の入浴介助を行っていたが、途中で気分が悪くなり、意識が無くなり、けいれんが起こり倒れこんだ。 当日は、午前中からエアコンが入った場所で介護作業を行っており、14時から当番で入浴介助に連続従事していた。（休業2週間）
46	29	7	建設業（管工事業）	40歳代	入社したばかりのため主に車に同乗しながらの荷運びや自社倉庫まわりの整備作業を、2、3人と一緒に行っていた。暑く日差しが強い屋外に慣れていない様子であったので、休息や水分補給はこまめに行っていたが、作業の途中で気分が悪くなり、病院へ行き熱中症と診断された。 熱中症は、徐々に日を迫うごとに体調に変化が出てきて発症したものと思われる。（休業30日）
47	29	7	商業（建設機材賃貸業）	40歳代	午後2時頃より体がきつくなり、嘔吐、下痢の症状が出た。その後、休憩室に戻るとすぐに手足が攣り始めたため、氷で各部位を冷やし、OS-1（補水液）を飲ませるなどしたが容態が回復しないので、午後4時半頃救急車で病院搬送し入院となった。翌日の検査で熱中症と診断された。（休業6日）

48	29	7	運輸業（貨物取扱事業）	30歳代	午前8時から勤務を開始し輸出用タイヤのコンテナ詰め作業に従事していた。10時から10分間の休憩をとった後、再びコンテナ詰め作業をしていたが、途中で気分が悪くなり座り込んだところで突然意識を失った。救急対応で病院に搬送され熱中症と診断された。（休業10日）
49	29	7	接客娯楽業（ゴルフ場）	60歳代	午前8時7分にスタートし、午前10時49分にハーフラウンドを終えたところで体調不良を訴えキャディー控室に戻った。体を水で冷やしていたが、手足に痙攣が始まり治まらないため救急搬送を行った。（休業2週間）
50	29	7	建設業（電気通信工事業）	30歳代	同僚の運転する乗用車にて帰宅中、被災者の体が揺れだし、手元も震えだしたので、救急搬送を行った。（休業1月）
51	29	7	建設業	50歳代	災害復旧工事現場において、ブロック積み作業を行っていた際、本人から気分が悪いとの訴えがあり、作業を中断した。本人から「寝ていれば治るから」と告げられ、木陰で休むよう促したが、本人から早退したいとの申し出があったため早退させた。（休業5日）
52	29	8	製造業（ゴム製品製造業）	40歳代	気温、湿度ともに高い環境でゴムクローラの加硫作業をしていた。連休明けの日で、作業中から手の痺れがあったが、そのまま仕事を終え帰宅し就寝した。翌日起床時に体に力が入らず、病院を受診したところ、熱中症と診断された。（休業1週間）
53	29	8	建設業（防水塗装業）	40歳代	煙突開口部ふさぎ修理の作業中、身体のあちこちが攣りだし、作業を終わらせて事務所に帰り、道具を片づけているとき身体が全く動かなくなった。病院に連れて行ったら、熱中症と診断された。（休業15日）
54	29	8	製造業（石油・石炭製品製造業）	40歳代	午前中は工場内で通常の仕事をし、午後1時30分頃から炎天下、草刈りした草をまとめてフォークリフトで焼却場に持っていく作業をし、2時過ぎから交代して草刈り作業を始めた。その後10分ほど経って気分が悪くなり、事務所へ戻り飲み物を飲もうとして容態が悪くなり、熱痙攣らしい症状を起こして倒れ、病院へ救急搬送された。（休業5日）

55	29	9	農業	60歳代	からいもの草刈り作業中に具合が悪くなり座り込んだ。それからなかなか回復しないため病院に行き熱中症と診断された。(休業11日)
56	30	7	接客娯楽業 (ゴルフ場)	10歳代	キャディーとして、午前8時より午後2時までラウンドした。この間、ハーフラウンド終了後1時間ほど休憩し食事を摂ったが体調が悪く嘔吐した。さらに、ラウンド終了後再び体調が悪くなり、病院を受診して点滴を受けた。(休業2週間)
57	30	7	製造業 (酒類製造業)	50歳代	倉庫内で、作業をしていたところ暑さで気分が悪くなり動けなくなったため、冷房の効いた医務室で1時間ほど休憩した後、帰宅した。翌日、病院に行った。(休業7日)
58	30	8	建設業	50歳代	会社敷地内で、草刈機により草刈作業を午前中から行っていたところ、猛暑のため午後2時頃気分が悪くなり、病院で治療を受けた。(休業1週間)
59	30	8	製造業 (製材業)	70歳代	工場内において、プレーナー作業に終日従事した後、夜23時頃、自宅トイレで動けなくなり救急搬送され入院した。(休業7日)
60	30	8	製造業 (酒類製造業)	50歳代	朝から、製造所において、芋切に関するOJTを受けていたところ、午後から息が上がリ、夕刻からは眩暈が出るようになった。詰所で横になったが、そのまま起き上がれなくなり、救急搬送された。(休業6日)
61	30	9	農林業 (林業)	30歳代	午前中から、山林の下刈作業を草刈機で行っていた。昼休憩をとっていたところ、全身が攣りはじめ、動けなくなった。(休業5日)
62	R1	6月	土木工事業	50歳代	山林の作業道でコンクリート舗装施工中。気温も湿度も上がってきた中、水分補給を行っていたが、11時30分頃気分が悪くなった。(休業1週間)
63	R1	6月	農林業 (林業)	50歳代	山林で植林作業を行っていた。途中休憩を取り12時30分から作業を再開したが気分が悪くなり息が激しくなり大量の汗をかき痙攣をおこしたため救急車で搬送した。(休業10日)
64	R1	7月	建設業	60歳代	公園内の現場で測量作業をしていたが、休憩場所に歩いていく途中にふらつき倒れこんだ。救急搬送された。(休業2週間)

65	R1	7月	清掃・と畜業 (廃棄物処理業)	40歳代	工場内で作業中に、その場にしゃがみ込んで立ち上がれない状況となった。すぐに冷房のある部屋に運んだが、声掛けの反応も弱いため救急車を呼んだ。(休業8日)
66	R1	7月	農 林 業 (木材伐出業)	60歳代	山林傾斜地での下刈作業中。午前中、手のこわばり感があった。午後、作業中に手指が攣りはじめたため早退し自宅にてシャワー浴後、四肢が攣り始め強い疼痛があったため救急車を呼んだ。(休業7日)
67	R1	7月	農 林 業 (製材業)	20歳代	工場内での清掃作業を終了後、会議中に寒くなりがたがた震えだした。(体温 38.7 度) 仮眠室で休んだ後、17時に帰宅したが体温が 40 度になり手足がマヒし動けなくなったので救急車を呼んだ。(休業6日)
68	R1	8月	建設業	70歳代	個人宅で花壇づくりの作業中に体調不良を訴えたため病院に連れて行った。(休業10日)
69	R1	8月	その他の事業 (ビルメンテナンス業)	60歳代	気温 30 度を超える中、エアコンのフィルター清掃を行っていた。こまめに水分補給、休憩をとっていたが、清掃器具を車に積んでいるときに突然倒れ一時意識をなくしていた。その後、救急搬送された。(休業1週間)
70	R2	7月	製造業	60歳代	午前中から屋外谷部でビニールハウス工事作業を行っていた。正午から1時間休憩とり作業を再開したが、午後、声掛けしても返事がなく谷部でうずくまっているところを発見された。救急搬送され1時間後に死亡が確認された。(死亡)
71	R2	7月	その他の事業 (クリーニング業)	20歳代	シーツのプレス機械を担当しているが、蒸気を使うため周辺はそれなりに高温となる。水分補給はいつでもできるようにしていた。自宅に帰ってから体調が悪くなり病院に行った。(休業5日)
72	R2	7月	製造業(しいたけ)	60歳代	会社内空調室で、しいたけの菌床のカット・収穫作業中に台車を運んでいたところ立ち眩みと同時に倒れ救急搬送された。(休業4日)
73	R2	7月	農業	30歳代	30度を超えた気温の中、屋外で直射日光を浴びて農作業を行っていたが、意識朦朧となり、ふらつきが起きたため作業を中断した。その後、病院を受診した。(休業5日)

74	R2	8月	警備業	60歳代	東九州道（大崎～鹿屋）工事区間で、交通誘導中に気分が悪くなり病院を受診した。（休業13日）
75	R2	8月	製造業（園芸用土）	40歳代	工場内で園芸用土の袋詰め作業をしていた時に気分が悪くなった。（休業7日）
76	R2	8月	製造業（電気機械器具）	50歳代	工場構内で芝刈り作業（手押し式）を30～40分実施後、足が攣った。その後太もも、股関節に痛みがあり、クーラーのある部屋で横になっていた。改善したので作業を再開したが、再びめまい、足の攣りなどが起こり、だんだんひどくなったため病院を受診した。（休業6日）
77	R2	8月	建設業	40歳代	日陰のない場所で、1時間おきに休憩を入れながら、側溝を入れたり、間にセメントを塗る作業を行っていた。昼休み中に具合が悪くなり、足が攣ってきたため病院を受診した。（休業4日）
78	R2	8月	建設業	50歳代	暑さで気分がすぐれない中仕事を続けていた。15時の休憩中に気分が悪くなり早退したが自宅でしびれ感が出たため翌日病院を受診した。（休業4日）
79	R2	8月	建設業（総合設備業）	20歳代	朝から日陰のない炎天下で仕事をし、16時頃電柱工事の材料を準備中に嘔吐した。空調服着用、水分補給を実施していた。（休業1週間）
80	R2	8月	建設業	50歳代	道路の舗装工事の路盤整正工事中（スコップで敷ならし作業）に倒れこみ救急搬送された。（休業8日）
81	R2	8月	建設業（総合設備業）	20歳代	朝から仕事をし、16時頃猛暑の中、市街地路上のケーブル架線補助作業を実施中に体温が急激に上昇し手足の痙攣が起きた。水分補給はしていたが空調服は未着用であった。（休業4日）
82	R2	8月	建設業（総合設備業）	50歳代	屋外現場作業において、昼休み中、指先に違和感を感じた。12時50分頃、手足、背中の上り下りができなくなったため救急搬送した。（休業4日）
83	R2	8月	農業	60歳代	圃場でゴボウの収穫作業中に、直射日光下（気温34.6度）脱水症状になり、嘔吐し動けなくなった。帰宅したが症状が改善せず病院受診した。（休業5日）

84	R2	8月	建設業	20歳代	現場作業中に突然嘔吐し、腹痛を訴えたため、救急搬された。受診の結果、熱中症と小腸イレウスとの併発と診断された。(休業7日)
----	----	----	-----	------	---